

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

|  |                               |         |              |
|--|-------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名  | 働くママさん応援事業                    |         |              |
| 政策   | 未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保 | 担当課     | 総合政策課        |
| 施策①  | 労働力確保と定着のための支援                | 電話番号    | 0193-27-8463 |
| 施策②  | 多様な働き方の推奨と生産性向上に向けた支援         | ハード・ソフト | ソフト          |
| 重点プロジェクト   | 人口減対策                         | 新規・継続   | 継続           |
| 市長基本施策   | 産業振興を通じた定住促進                  | 補助・単独   | 補助           |
| 事業期間   | 令和4年度～令和5年度                   |         |              |
| 事業の概要  |                               |         |              |
| 子どもを連れて仕事ができる「子連れワーク」が可能なオフィス整備の支援を行い、市内外、特に首都圏企業のスポット業務（リモートワーク）を個人の目標に合わせてマッチングし、適切な研修を提供することで、子育てと仕事を両立させながら、一定の収入確保及びスキル取得・キャリアアップを支援するもの。 |                               |         |              |

2. 現状・課題及び目的

|   |
|---|
| 現状・課題   |
| 市民アンケート調査によると、女性が働く環境に不満のある市民の割合は 24.7%、仕事と子育ての両立に不満のある市民の割合は 20.4%あり、女性が働く環境や、仕事と子育ての両立に不満を持ち、市外転出の理由や出産・育児の敬遠の一因となっている可能性がある。 |
| 目的  |
| 働く環境や仕事と子育ての両立に関する満足度を高め、多様な選択肢から自らの人生設計を構築できる地域社会となることで、社会減、自然減の抑制へとつなげる。  |

3. 主な活動及び事業費

|  |     |     |
|--|-----|-----|
| 主な活動   |     |     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーカー養成講座の開催</li> <li>・リモートで実施可能な首都圏等企業の業務のマッチング</li> <li>・業務を受注した参加者の伴走</li> </ul> |     |     |
| 事業費  |     |     |
| R 5  | R 6 | R 7 |
| 1,000 千円   | 千円  | 千円  |

4. 評価結果

|   |     |         |     |
|---|-----|---------|-----|
| 妥当性   | 有効性 | 効率性     | 公平性 |
| 適切  | 適切  | 見直し余地あり | 適切  |
| 評価結果  |     |         |     |
| 令和4年度に登録した人へのアプローチは今後も継続しつつ、新たな働き方の好循環が生まれるよう、サポートされたい。 |     |         |     |

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

|   |                               |         |              |
|---|-------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名   | 地域おこし協力隊事業                    |         |              |
| 政策  | 未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保 | 担当課     | 総合政策課        |
| 施策①   | U・Iターンの強化                     | 電話番号    | 0193-27-8463 |
| 施策②   | 特色ある移住誘致                      | ハード・ソフト | ソフト          |
| 重点プロジェクト  | 人口減対策                         | 新規・継続   | 継続           |
| 市長基本施策  |                               | 補助・単独   | 単独           |
| 事業期間  | 令和4年度～令和6年度                   |         |              |
| 事業の概要   |                               |         |              |
| 地域課題の解決や将来的な定住者確保のため、総務省地域おこし協力隊制度を活用し、地方への移住者を地域おこし協力隊員として募集・採用するもの。 |                               |         |              |

2. 現状・課題及び目的

|  |
|--|
| 現状・課題  |
| 人口減少や少子高齢化により地域活動の担い手が不足し、地域コミュニティの維持が困難になってきている。                          |
| 目的   |
| 総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、地域課題解決へ向けた施策の推進、及び将来的な定住者確保のための地域外人材を確保し、持続可能なまちを実現させる。 |

3. 主な活動及び事業費

|  |          |     |
|--|----------|-----|
| 主な活動                                       |          |     |
| ①地域おこし協力隊の募集及びマッチング<br>②地域おこし協力隊起業支援補助金の交付 |          |     |
| 事業費  |          |     |
| R 5  | R 6      | R 7 |
| 9,520 千円                                   | 9,520 千円 | 千円  |

4. 評価結果

|   |     |         |     |
|---|-----|---------|-----|
| 妥当性   | 有効性 | 効率性     | 公平性 |
| 適切  | 適切  | 見直し余地あり | 適切  |
| 評価結果  |     |         |     |
| 地域おこし協力隊の業務を市内外へ広く知らせるため、PR やメディアへの働きかけを行うこと。 |     |         |     |

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

|  |                               |         |              |
|--|-------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名  | 高等教育機関設置事業                    |         |              |
| 政策   | 未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保 | 担当課     | 資産管理課        |
| 施策①  | 労働力確保と定着のための支援                | 電話番号    | 0193-27-8416 |
| 施策②  | 人材確保の推進                       | ハード・ソフト | ハード          |
| 重点プロジェクト   | 人材育成と産業の振興                    | 新規・継続   | 継続           |
| 市長基本施策   | 産業振興を通じた定住促進                  | 補助・単独   | 単独           |
| 事業期間   | 令和4年度～令和5年度                   |         |              |
| 事業の概要  |                               |         |              |
| 令和3年度～令和4年度で実施した教育センター改修工事実施設計業務を受け、令和5年10月日本語学科開校に向けた必要な改修工事を行うもの（債務負担行為（令和4年度～令和5年度））。 |                               |         |              |

2. 現状・課題及び目的

|   |
|---|
| 現状・課題   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後の進学先が市内には無いため、進学希望者は市外に転出せざるを得ない状況になっている。</li> <li>・業種によって雇用のミスマッチが生じており、人口減少が進むにつれて就業者の高齢化や担い手となる若年層の割合低下が見込まれる。</li> <li>・外国人がいち早く地域に溶け込み、その一員として安心して生活できる環境整備に取り組む必要がある。</li> </ul> |
| 目的  |
| 高等教育機関等と連携し、地域に貢献する人材の育成を推進するとともに若者の定着を図り、人口減少の緩和及び活力につながる地域社会の形成、さらに外国人等の社会参画による地域の活性化を目指すもの。  |

3. 主な活動及び事業費

|  |     |     |
|--|-----|-----|
| 主な活動   |     |     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校法人龍澤学館と協議を進めながら、市が担う役割の検討</li> <li>・必要に応じて釜石市教育センター棟及び倉庫棟の改修工事を実施</li> </ul> |     |     |
| 事業費  |     |     |
| R 5  | R 6 | R 7 |
| 337,099 千円   | 千円  | 千円  |

4. 評価結果

|  |         |         |     |
|--|---------|---------|-----|
| 妥当性  | 有効性     | 効率性     | 公平性 |
| 適切   | 見直し余地あり | 見直し余地あり | 適切  |
| 評価結果   |         |         |     |
| 周辺施設の今後の在り方、またそれらとの連動性も考慮しながら、スケジュールを考慮の上実施されたい。 |         |         |     |

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

|   |                               |         |              |
|---|-------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名   | 地域雇用サポート事業                    |         |              |
| 政策  | 未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保 | 担当課     | 商工観光課        |
| 施策①   | 労働力確保と定着のための支援                | 電話番号    | 0193-27-8421 |
| 施策②   | 就労支援の充実                       | ハード・ソフト | ソフト          |
| 重点プロジェクト  | 人口減対策                         | 新規・継続   | 継続           |
| 市長基本施策  | 産業振興を通じた定住促進                  | 補助・単独   | 単独           |
| 事業期間  | 令和2年度～令和7年度                   |         |              |
| 事業の概要   |                               |         |              |
| 市内商業施設内にサポートセンターを設置し、求職者等及び地域事業者を対象とした相談業務やセミナーイベント等の実施により、求職者の早期就労支援や潜在労働力の発掘、地域事業者の人材確保の支援を行うもの。また、移住定住希望者に対する相談窓口を設置し、当市での雇用や暮らしに関する情報提供等のサポートを一体的に行うことにより、当市での円滑な就職及び定住ができるよう支援を行うもの。 |                               |         |              |

2. 現状・課題及び目的

|  |
|--|
| 現状・課題  |
| 震災復興事業の縮小及び新型コロナウイルス感染症の影響により一時0.61倍まで下降した有効求人倍率（釜石・大槌。受理地別）は、現在は1倍を超える状況で推移しているが、コロナ禍の長期化により、今後離職者が増える可能性も否めず、引き続き注視が必要。一方で、少子高齢化の加速による労働人口の減少も懸念されており、将来にわたっての安定した人材の確保と、業種による求人・求職のミスマッチの解消が課題となっている。 |
| 目的   |
| 求職者等及び事業者に対し、個々のニーズにマッチしたきめ細かい支援を行うことにより、雇用に関する諸問題を解決し、誰もが自分らしくいきいきと働くことのできる社会の実現と、地域事業者の発展を目指すもの。また、当市へのU Iターン・移住定住を希望する方に対し、雇用と暮らしの両面からのサポートを一体的に行うことにより、移住定住を促進し、地域の活性化や人口減少の緩和、地域産業を担う人材の確保を図るもの。    |

3. 主な活動及び事業費

|   |           |           |
|---|-----------|-----------|
| 主な活動  |           |           |
| 就労相談、支援拠点として、市内商業施設内にしごと・くらしサポートセンターを開設。就労に関する相談等を行うための相談窓口を設置し、就職に関するカウンセリング、職業意識の啓発、就職活動に関する各種情報提供や希望する職種への適正診断などを行うことで、求職者の早期就職や在職者の定着を支援する。 |           |           |
| 事業費   |           |           |
| R 5   | R 6       | R 7       |
| 34,539 千円   | 34,000 千円 | 34,000 千円 |

4. 評価結果

|  |         |     |     |
|--|---------|-----|-----|
| 妥当性  | 有効性     | 効率性 | 公平性 |
| 適切   | 見直し余地あり | 適切  | 適切  |
| 評価結果   |         |     |     |
| 就労支援の充実を図るための市民等が気軽にキャリア相談が出来る窓口は当該センターが市内唯一であるため、その効果を十分に発揮し、誰もが自分らしく生き生きと働くことのできる環境の構築が必要である。地方創生推進交付金の期間終了を見据え、新たな財源及び運営体制等を予め検討されたい。 |         |     |     |

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

|  |                               |         |              |
|--|-------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名  | 釜石高等職業訓練校改修事業                 |         |              |
| 政策   | 未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保 | 担当課     | 商工観光課        |
| 施策①  | 労働力確保と定着のための支援                | 電話番号    | 0193-27-8421 |
| 施策②  | 就労支援の充実                       | ハード・ソフト | ハード          |
| 重点プロジェクト   | 人材育成と産業の振興                    | 新規・継続   | 継続           |
| 市長基本施策   | 産業振興を通じた定住促進                  | 補助・単独   | 補助           |
| 事業期間   | 令和3年度～令和6年度                   |         |              |
| 事業の概要  |                               |         |              |
| 校舎屋上と外壁全面の改修を行うことにより、雨漏りを解消し、訓練の効率化及び利用者の利便性の向上を図るとともに、躯体の老朽化の進行を食い止め、施設の長寿命化と維持管理費の削減を図るもの。 |                               |         |              |

2. 現状・課題及び目的

|  |  |
|--|--|
| 現状・課題  |  |
| 釜石高等職業訓練校では、施設の老朽化により、かねてより降雨時に雨漏りが複数個所で頻繁に起こり、職業訓練に支障をきたしている。訓練にはパソコン等水濡れ厳禁の機器を多く使用していることもあり、これまでも雨漏りのたびに自前での補修を試みてきたが、未だ解消されておらず、抜本的な改修が必要である。また、令和2年度に実施した公共下水道接続工事の際に、腐食により外壁が貫通している箇所が発見され、雨水の侵入も認められた。 |  |
| 目的   |  |
| 校舎屋上の防水改修（令和3年度実施）に加えて外壁全面の改修を行うことにより、雨漏りによる訓練への支障を解消するとともに、躯体の老朽化を食い止め、施設の長寿命化と、維持管理費の削減を図るもの。  |  |

3. 主な活動及び事業費

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
| 主な活動                                   |           |     |
| ①校舎屋上防水改修工事（令和3年度）<br>②校舎外壁改修工事（令和5年度） |           |     |
| 事業費                                    |           |     |
| R 5                                    | R 6       | R 7 |
| 千円                                     | 27,500 千円 | 千円  |

4. 評価結果

|  |     |     |     |
|--|-----|-----|-----|
| 妥当性  | 有効性 | 効率性 | 公平性 |
| 適切   | 適切  | 適切  | 適切  |
| 評価結果   |     |     |     |
| 就労支援の充実へ向け離職者訓練に係る様々な用途で活用されている欠かせない施設であるため計画的な改修工事が必要と思われる。今後、県の補助金が採択となった場合は修繕を実施されたい。 |     |     |     |

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

|  |                               |         |              |
|--|-------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名  | かまいし学生エール便事業                  |         |              |
| 政策   | 未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保 | 担当課     | 商工観光課        |
| 施策①  | U・Iターンの強化                     | 電話番号    | 0193-27-7222 |
| 施策②  | 効果的な情報発信                      | ハード・ソフト | ソフト          |
| 重点プロジェクト   | 人口減対策                         | 新規・継続   | 継続           |
| 市長基本施策   | 産業振興を通じた定住促進                  | 補助・単独   | 単独           |
| 事業期間   | 令和4年度～令和7年度                   |         |              |
| 事業の概要  |                               |         |              |
| 釜石出身および釜石市内で学ぶ学生に対し、市内事業者の特産品を送付することで、新型コロナウイルス感染症の影響で不安定な生活を送る学生を支援するとともに、事業者の支援も行うもの。また、学生に直接情報提供及び意見を聞くことができるツールとして、活用する。 |                               |         |              |

2. 現状・課題及び目的

|  |
|--|
| 現状・課題  |
| 新型コロナウイルス感染症が収束しない状況で、学生はアルバイトの機会を失い、不安定な生活を送っている。 |
| 目的   |
| 当市出身の学生を支援し、故郷とのつながりを持ち、最終的にUターンもしくはつながり人口につなげる。   |

3. 主な活動及び事業費

|  |     |     |
|--|-----|-----|
| 主な活動   |     |     |
| 市内事業者の特産品や、学生に必要と思われるものを送付。<br>WEBでの申し込みとするため、市から情報提供をする旨了承をもらい、取得したメールアドレスに情報発信を行う。 |     |     |
| 事業費  |     |     |
| R 5  | R 6 | R 7 |
| 千円   | 千円  | 千円  |

4. 評価結果

|  |         |         |     |
|--|---------|---------|-----|
| 妥当性  | 有効性     | 効率性     | 公平性 |
| 適切   | 見直し余地あり | 見直し余地あり | 適切  |
| 評価結果   |         |         |     |
| 定住推進事業と連携し、アンケート調査を分析しながら、釜石市のUターン施策につなげるための情報収集ツールとして有効活用されたい。また、他課の事業とも連動させUターンにつなげるスキームを確立されたい。 |         |         |     |

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

|  |                               |         |              |
|--|-------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名  | 定住推進事業                        |         |              |
| 政策   | 未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保 | 担当課     | 商工観光課        |
| 施策①  | U・Iターンの強化                     | 電話番号    | 0193-27-7222 |
| 施策②  | 特色ある移住誘致                      | ハード・ソフト | ソフト          |
| 重点プロジェクト   | 人口減対策                         | 新規・継続   | 継続           |
| 市長基本施策   | 産業振興を通じた定住促進                  | 補助・単独   | 単独           |
| 事業期間   | 令和4年度～令和7年度                   |         |              |
| 事業の概要  |                               |         |              |
| 地域の活性化及び人口減少の緩和を図るため、移住定住へ向けた取組として①働きかけ・きっかけづくり、②住宅対策など経済的な支援、③情報発信・周知の3つを有機的に連動させ施策を展開するもの。 |                               |         |              |

2. 現状・課題及び目的

|   |
|---|
| 現状・課題   |
| 出生数の減少と社会減のどちらも歯止めがかからず、人口減が続いている。<br>転出数は令和2年度255人、令和元年度430人、平成30年度343人。 |
| 目的  |
| 当市へのU I ターン者を増加させ、労働力を確保し、産業および市民生活を活性化する。                                |

3. 主な活動及び事業費

|  |           |           |
|--|-----------|-----------|
| 主な活動   |           |           |
| 当市を知ってもらうこと。（ポータルサイト及びパンフレットの作成、お試し移住ツアー実施）<br>U I ターン検討者への相談対応。（移住コーディネーター）<br>U I ターンを呼び込む施策の検討、実施。（各種補助金） |           |           |
| 事業費  |           |           |
| R 5  | R 6       | R 7       |
| 21,850 千円  | 28,785 千円 | 28,785 千円 |

4. 評価結果

|  |         |         |     |
|--|---------|---------|-----|
| 妥当性  | 有効性     | 効率性     | 公平性 |
| 適切   | 見直し余地あり | 見直し余地あり | 適切  |
| 評価結果   |         |         |     |
| 移住定住を推進する重要な事業であり、釜石市のPR、相談、先輩移住者の声、お試し移住、移住する人への補助金などが面的に整備されているため、引き続き効果検証を行いながら、釜石市のU I ターンの強化を行われない。なお、地方創生推進交付金の期間終了を見据え、補助金内容の見直しを行いながら、釜石市の限られた財源の中で持続可能な仕組みづくりを予め検討されたい。 |         |         |     |

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

|   |                               |         |              |
|---|-------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名   | 高等教育機関運営支援事業                  |         |              |
| 政策  | 未来をつくる人と産業が育つまち/移住定住の推進と雇用の確保 | 担当課     | 国際港湾産業課      |
| 施策①   | 労働力確保と定着のための支援                | 電話番号    | 0193-27-8423 |
| 施策②   | 人材確保の推進                       | ハード・ソフト | ソフト          |
| 重点プロジェクト  | 人口減対策                         | 新規・継続   | 新規           |
| 市長基本施策  | 産業振興を通じた定住促進                  | 補助・単独   | 単独           |
| 事業期間  | 令和5年度～令和7年度                   |         |              |
| 事業の概要   |                               |         |              |
| 令和5年10月に日本語学科を設置予定の専門学校に対して、その開校設置にかかる経費の支援を行うもの。 |                               |         |              |

2. 現状・課題及び目的

|   |  |
|---|--|
| 現状・課題   |  |
| 人口減少と少子高齢化により、労働力や若者人材の減少が顕著であり、産業やまちの活力の低下が危惧されている。          |  |
| 目的  |  |
| 高等教育機関である専門学校の誘致により、外国人留学生や若者がいるまちづくりを推進し、地元定着やまちの活性化につなげていく。 |  |

3. 主な活動及び事業費

|   |          |          |
|---|----------|----------|
| 主な活動  |          |          |
| 令和5年10月に日本語学科を設置予定の専門学校に対して、その開校設置にかかる経費の支援を行う。 |          |          |
| 事業費   |          |          |
| R 5   | R 6      | R 7      |
| 19,500 千円                                       | 9,500 千円 | 9,500 千円 |

4. 評価結果

|                   |         |     |         |
|-------------------|---------|-----|---------|
| 妥当性               | 有効性     | 効率性 | 公平性     |
| 適切                | 見直し余地あり | 適切  | 見直し余地あり |
| 評価結果              |         |     |         |
| 新規採択。内容、金額を精査のこと。 |         |     |         |